

10 アリの1日の動きを調べよう

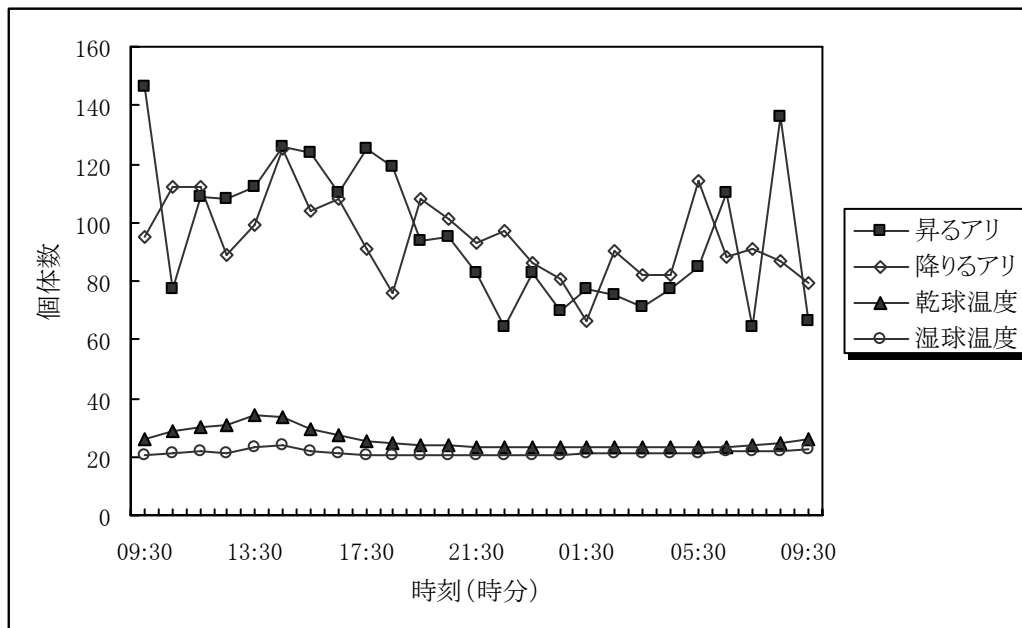
用意するもの

メモ用紙、グラフ用紙、鉛筆、ピン（または画びょう）、ストップウォッチ（時計）

やりかた

- 1 樹木の幹でアリ道（アリの行列）を探す。
- 2 観察しやすい位置にピンを刺し、ピンの横を通過するアリ（上昇するアリ、下降するアリ）をそれぞれカウントする。計測時間は3分～5分間、1～3時間おきに実施する。（深夜については、児童の健康のため、実施しない。）
- 3 家に持ち帰り、グラフ用紙にまとめる。

参考例（平成7年9月9日午前9時30分～同年9月10日午前9時30分、千葉市内の高校にて、クヌギの幹を上下するトビイロケアリについて調査）



上のグラフから、深夜1時30分頃がやや少なくなるようであるが1日を通して活動していることがわかる。

森下（1939）によれば、トビイロケアリは冬期は活動せず、早春ようやく昼間活動し、盛夏には夜間の活動も活発になり、秋になれば夕方が最盛となるという。

参考文献

高野義幸(1997)アリの教材化に関する研究—採餌行動を中心とした観察、実験教材の開発—、平成7～8年度高等学校教科研究員研究報告書理科、千葉県教育庁学校教育部指導課